

第5学年 国語科 学習指導案

南風原町立南風原小学校 教諭 屋良真弓

1. 単元名 資料を活用して報告しよう -SDGsめがねをかけたなら-

2. 単元の目標

集めた資料を活用し、引用したり図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して書くことが出来る。(思考・判断・表現)

3. 単元について

(1) 教材観

本単元の重点指導事項は、学習指導要領における(思考力・判断力・表現力等)の「B書くこと」(1)エ「引用をしたり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することである。児童はこれまでに新聞やポスターを題材として図表やグラフ写真等の資料が用いられている様々な形式の文章について学習している。しかしながら、複数の資料から読み取った情報を相互に関連付けたりしながら必要な情報を読み取った上で、それらを的確に用いて説得力のある文章を書く力を十分に身に付けているとは言えない。そこで本単元の言葉の力は資料を活用して報告すると設定した。系統性にも留意しながら、他教科や総合的な学習の時間においても生かすことのできる情報活用能力を育てていきたい。

(2) 児童観

本単元は「書くこと」の「説明・報告」の系統として位置づけられている。4年の同系統の単元では写真や図の取り入れ方や見出しの付け方を工夫し、読み手にわかりやすく伝えることを学習してきた。また、5年では、4月の「事実と考えを区別しよう」(書くこと)において事実と考えを区別して整理した文章を書く学習を行っている。言語活動に取り組む際には、これらの既習事項を想起させるようにしたい。本単元の学習は10月の「和の文化について調べよう」(読むこと・書くこと)で資料使って説明する学習を行う際に活用できる。前後の単元とのつながりや同系統の学習内容を押さえた上で学習に取り組ませたい。

本学級の児童は、明るく穏やかな児童が多い。グループ学習や学級全体との交流の場面においても、男女別なく共に学習に取り組む姿が多くみられる。また、社会的事象に対して興味関心が高い児童もとても多い。「知っていることを伝えたい!」「この問題はどうなっているんだろう」と意欲的に学習に取り組む様子が、社会科や総合的な学習の時間に多くみられた。

(3) 指導観

本単元では資料を用いて調べたことを報告する文章を書くという言語活動を設定している。指導に当たっては、まず説明報告文の特徴をおさえたい。説明報告文は見聞きしたこと、経験したこと、調べてわかったことについて事実を中心に読み取る読み手にわかりやすく伝える文章を書くことが狙いとなる。よって活動の設定にあたっては、対象に関わる情報をたくさん集め、それだからわかる事実を整理して、取捨選択、加工、再構成するという総合的な情報活用能力が求められる活動とすることが大切になる。

また児童には書くことの「目的・相手・場面」を明確に意識させたい。教科書では、説明・報告の相手や場面、状況を限定していないが、本単元の発展的な活動として、書かれた説明報告文を发表或し、読みあったりする活動を設定することも考える。この発展的な活動の設定は、学校の実態に合わせた指導者の裁量に任せられるところである。共通のテーマの基でそれぞれが関心を持った事柄について報告し合い、考えを交流する活動を通じて、考えの広まりや深まりが期待できる。同学年の他の学級や下級生との交流の機会を設けることができれば、相手や場面、状況に応じた表現を工夫する意識をより高めることができるだろう。

(4) ESDとの関連

・本学習で働かせるESDの視点（見方・考え方）

多様性：SDGsという概念を獲得することにより、普段何気なく生活していた身の回りの風景（捉え方）が、違ったものに見えてくる。問題の可視化につながる。

相互性：自分たちの生活とあらゆる問題（社会的課題）がつながっていることを知る。

例：パーム油ワークショップを体験することで、児童労働の問題と目の前の食卓がつながっていることを知る。

責任性：互いに協力することで、問題を解決する糸口になることを知る。また、逆に無関心な態度が、問題の悪化につながることをわかる。

例：差別問題について知る→知っていることをまずは家族と共有して話し合いたい、と考え行動に移すことが出来る。

・本学習で育てたいESDの資質・能力

コミュニケーションを行う力：説明報告文を作成するにあたり「ハチドリ大作戦」を行ったり、相手意識を持ちながら必然性のある報告文作成という場の設定を行うことで、課題と考えることを伝えるために論理的に思考、表現して行動できる。

他者と協力する態度：「ハチドリ大作戦」の場を設定することで、問題解決に向けた行動を必須とした。そのことにより、仲間を作り行動したり、感じたり考えたりしたことを共有する態度につながる。

進んで参加する態度：報告分を各過程で、社会的な問題を知り解決につながる手立てやそれを呼びかける説得力のある文章を考えることで「出来ることからやってみよう」という主体的・積極的な態度が育成される。

・本学習で変容を促すESDの価値観

自然環境、生態系の保全を重視する：環境に配慮した生活でないと、環境に負荷をかけてしまい、持続可能な社会の実現が出来なくなる。

人権・文化を尊重する：一人一人（生き物も）はみな、平等に大切にされる存在である。ジェンダー問題や差別（アイヌ・琉球人差別含む）の根底には、人はみな自分らしく生きる権利がある。

・達成が期待されるSDGs（6月の実践後、児童らの報告テーマをみると以下のゴールが挙がっていた）

目標1：貧困の撲滅、目標5：ジェンダー平等、目標10：不平等の解消、目標13：気候変動
目標14：海洋資源、目標15：陸上資源、目標16：平和・公正

4. 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①思考にかかわる語句の量を増やし、文章の中で使っている。(1) オ ②情報と情報との関係づけの仕方を理解している。(2) イ	①「書くこと」において、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にしている。B(1) ア ②「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。B(1) エ	①これまでに学習したことをふりかえって学習課題を明確にし、学習の見通しをもって、進んで引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、調べたことを報告する文章を書こうとしている。

5. 単元の指導計画 (全10時間)

時	主な学習活動	学習への支援・資料など	評価(△) 備考(・)
1 2 つ か む	○SDGs びらき (概念の獲得) ・ 17のゴールについて知る ・ 持続可能な社会について知る ・ 新聞記事とSDGs とのひもづけ活動を通して、社会課題を見つめる ○単元を通した言語活動 (ゴール) を知る (単元の目的を理解し学習の見通しを立てる) ・ 調べて分かったことや考えたことを資料を活用して報告するという学習課題を確かめ、見通しを立てる。 ・ 例文を読み、資料の使われ方や効果について話し合う。	・ PPT ・ 動画 ・ 朝日小学生新聞 ・ SDGs 付箋 ・ ワークシート (?) ・ SDGs 子ども用資料	
3 4	○パーム油ワークショップを通して身近なモノと世界的な問題がつながっていることを知る。 ・ 課題の解決のために何ができるのか考える	・ パーム油 ワークショップセット ・ わたしの気持ち (ふりかえりシート)	
宿題	○身近にある“解決したほうが良いと思う問題” “気になること”を探す→ テーマ探索	・ おうちの人とも話題にして、テーマについて考える。	
5	○報告書のテーマを決定する。 ○報告書に書き込む内容について知る。 《報告書に書くこと》	・ 教師が作成した報告書 (例示) を見せる。 (イメージの共有)	

	<p>①テーマについて（テーマ設定理由）</p> <p>②現状と課題（資料の活用はここで！）</p> <p>③これから自分にできること</p> <p>④『1mm作戦！（ハチドリ作戦）』 →実際に行動してみたの感想</p> <p>⑤聞き手への呼びかけ（相手を想定し書く）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・③と④の内容はESDとの関連で追加した。 ・『ハチドリのひとしずく』本の紹介。 	
6 7 8	<p>○調べ学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知りたいことに関する情報や資料を、知りたいことの内容に応じて、図書館の本、先生から配布された資料を中心に情報収集する。 <p>○下書きメモ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの資料から読み取れることを整理し、下書きメモ（カード）を作成。 ・報告したい内容に適した資料を選択する。 <p>○報告書作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告書を書く際は、教科書の例示に沿って書き進めていくよう指示。 ・提示資料はロイロノートでスライドとしてまとめておく。 	<p>《使用する主な資料》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本、資料集 ・タブレット ・ユニセフ等から出されているSDGsの児童用解説資料 	<p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・B(1)ア 発言・情報カード ・B(1)エ 構成メモ
宿題	<ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習など、自分自身が報告書を書くにあたって不十分だと思う部分について追加の学習を行う。 		
9 10	<p>○報告会を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝えたい相手に届くように、ロイロノートに動画を保存したりする。（直接伝えられる相手であれば、伝えるように場を設定する） <p>*最後の問いかけ*</p> <p>「SDGsめがねをかけて、身の回りを見て考えたんだけど、SDGsめがねを取ったらどうなるだろう？」</p> <p>→身の回りで起きている問題と自分を切り離して考える事はできない、ということに気づかせたい。</p>		